



1873→2024

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和6年度 7月号

令和6年7月1日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長 小島 博之

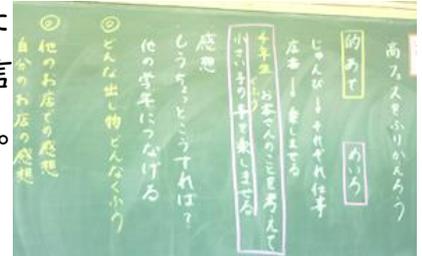
祭りの前、祭りの後

6月5日は「高フェス」。「高小フェスティバル」「高鷲フェスティバル」などの表記があり、「高鷲っ子がつくるフェスティバル(祭り)」→「高フェス」と理解していいのでしょうか。3～6年生各学級が「出店」し、高鷲っ子や先生みんなで楽しむことはもちろん、幼小連携でもと高鷲幼稚園時代から続けてこども未来館たかわしの年長児さんを招待しています。

前日4日の児童朝会では「高フェスの3つの楽しみ方」(①自分がお客さんとして②自分がお店のしごとを③誰かが楽しむ姿を見て→楽しむ)とともに、私は明日出張が重なり参加できない旨を話しました。午後に教室を回っていると準備で試行錯誤の中「これやって」「見ていって」とリハーサル「ご招待」が続き、4年生から私の名前入りの「スタンプリーカード」を頂きお先に「祭りの前」を楽しませてもらいました。

5日テンション高めの朝「高フェススタート」アナウンス後、6年生が「なんでこんな日に出張なの?たくさん写真撮ってほしかったのに…」と言いながら「行ってらっしゃい」と手を振ってくれました。粋なお見送りに感謝しつつ、「みんな今頃楽しんでるのかなあ」と出張から帰校した午後、下校時に段ボールや作品など「祭りの後」を抱えた高鷲っ子の「楽しかった」「小さい子が喜んでかわいかった」の言葉と満足げな笑顔に、私も一緒に嬉しくなりました。当日の晩の地域の会議で、こども未来館たかわしの園長先生から「高フェスに招待してもらった年長児が今度は自分たちが年下の子たちに楽しいことをしたいと言っています」とお聞きし、「やるなあ高鷲っ子!」と顔がほころびました。

自分たちが楽しみながら頑張っって、誰かの次の力になれる。高鷲っ子にとって「高フェス」は、そんな「祭り」であり続けてほしいです。



◆「たかわし」を大切に～良いことばでの【かたりあい】が人との【わかりあい】につながる

高鷲小では1学期に全学年で「ふわふわことば・ちくちくことば」の取組みをしています。6月19日の児童朝会ではその取組みから学んだことについて高鷲っ子から発表がありました。3年生から「大切なことは相手のことを知ろうとすること」4年生から「自分が言われて嬉しかったことばは誰かにも言おう」など大切なことを伝えてくれました。自分が発する「ことば」の先には相手があります。相手のことを知ろうと思えば「ことば」は変わります。良いことばをかけることで、相手からも良いことばが返ってきて、良いことばの連鎖が生まれ、人と人が少しずつわかりあい、良い学校や世の中につながるでしょう。

「かたりあい」から「わかりあい」の入口を見つけた高鷲っ子。お見事です。



◆7月行事予定(8・9月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

6月23日の日曜参観ありがとうございました。あいにくの天候でしたが、相変わらずの「お出迎え」とともに2時間目の授業参観で活躍する高鷲っ子。保護者のみなさまに応援参加いただく授業も見られました。3時間目の教育講演会では「お金」について楽しくわかりやすいお話をいただき、高鷲っ子だけでなく私たち大人にとっても、自分事としてその大切さをあらためて実感できました。残念ながら「引き渡し訓練」は中止となりましたが、次の機会によりしくお願ひいたします。

7月の個人懇談では、新学年になり1学期間のお子さまのお話をご一緒にできる貴重な機会です。お忙しい中短時間ではありますが有意義な時間になりますようよろしくお願ひいたします。

ほんものって、かっこいい

行事続きの6月はめったに見られない「本物」との出会いが満載。

6月10日の火災想定避難訓練では、校舎から運動場に「避難」した高鷲っ子の前で、柏羽藤消防本部の消防士さんによる命を守るお話の後、本物の消防車からの放水見学。白いホースから放たれるすごい水流とたくましい消防士さんの姿に歓声が上がりました。

6月13日には勢いよく茂りすぎた校庭のセンダンやサクラなど樹木剪定のために来た高所作業車を、「国語の教科書『自動車くらべ(はたらく自動車)』の本物を見よう」と1年生が見学。伸縮アームやゴンドラを自在に動かして高い木の枝をきれいに整えていく作業を、高鷲っ子も先生も興味深く眺め、たくさんの発見ができました。

6月21日には体育館で大阪府警による1・2・3年向けに信号の渡り方などの交通安全教室の後、高鷲っ子全員が集合し、大阪府警察音楽隊の演奏を鑑賞。「音楽でパトロール」を合言葉に1音1音丁寧に奏でる本物のマーチングバンドを、まさしく「耳+目と心」で聴いていた高鷲っ子は、親しみやすい曲のオンパレードに自然と手拍子に加え指揮者やドラム奏者になりきり、最後の「ミッキー」では立ち上がって踊る子も続出。体育館が一体感に包まれました。

6月27日には羽曳野警察による4年生向け交通安全教室。前半は別室からリモートで自転車のヘルメットなど安全についてお話を聞いていましたが、後半にお巡りさんが実際に教室に登場したとたん文字通り「目の色が変わった」高鷲っ子。質問タイムでは無線や警棒など本物のお巡りさんの装備品に興味津々でした。

「ほんものってかっこいい～」の声が高鷲っ子からあふれました。人生は毎日が本物との出会いの連続です。人との出会いはもちろん、日々の学習や体験から本物を感じられるようになりたいですね。



◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

高鷲っ子をサポートするのは、学校で働く人だけではありません。PTAや地域のみなさまが、学校のトイレ清掃、日々の通学路見守り活動、放課後子ども教室(直近は7月3日)、10月のふれあいフェスティバルなど、高鷲っ子のためにお力をいただいています。本当にありがとうございます。